



創る、

築く。



セメダインは、
“人を大切にし、より良い製品を
より多くの人々に提供することにより
社会に貢献する”

1923年の創業以来変わることのない
この企業理念に基づき
活動を続けております。

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

当社第76期(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)の営業の状況と決算につきましてご報告申し上げます。

利益配当金につきましては、1株当たり3円とさせていただきますので、既にお支払しております中間配当金3円とあわせまして当期の年間配当金は、6円となります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

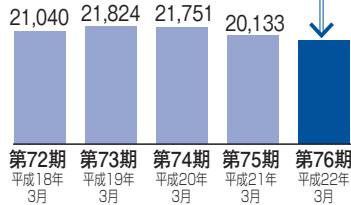
平成22年6月
代表取締役社長 荒井 進

売上高

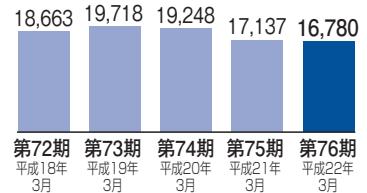
当期の
ポイント

19,205百万円

環境対策品、高機能品等の拡販に努めましたものの、建築関連市場の需要が引き続き低迷したこともあり、売上高は前年同期と比べ4.6%減少いたしました。



総資産 (百万円)

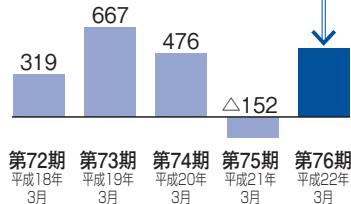


経常利益

当期の
ポイント

511百万円

売上高は前年同期と比べ減少したものの、経費の削減に努めた結果に加え、原価率の改善もあり、経常利益は511百万円(前年同期 経常損失152百万円)となりました。



純資産 (百万円)

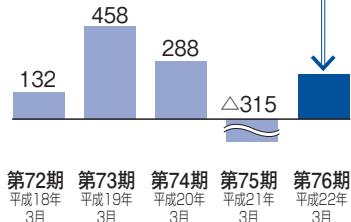


当期純利益

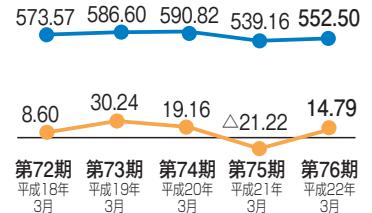
当期の
ポイント

219百万円

前年同期は退職金制度の変更による特別損失等の影響があり、純損失を計上いたしましたが、当期は業績の好転により純利益219百万円を計上いたしました。



● 一株当たり純資産 (円)
● 一株当たり当期純利益 (円)



事業の概況

事業の経過およびその成果

当期におけるわが国経済は、企業の在庫調整が進んだことや中国および新興国向け輸出の増加などに加え、政府の景気対策も一定の効果をもたらし、金融・経済危機が懸念された最悪期を脱し、持ち直しの動きが見えてまいりました。しかしながら、設備投資は依然として低水準にあり、雇用・所得環境も回復せず、デフレ傾向の影響もあって経済活動の水準は低く、景気は全般として低調なまま推移いたしました。

当社グループ関連業界におきましては、アジア経済の持ち直しなどを背景に工業関連市場の一部で回復の兆しが見られましたものの、建築関連市場はさらに需要が低迷するなど厳しい状況が続きました。また、一昨年末にかけて原油・ナフサ価格等が急落したことから期前半には原材料、副資材価格は値下がりいたしました。期後半から再びじりじりと上昇を続けており先行きは不透明なものとなっております。

このような環境のもと、当社グループでは、環境対策品、高機能品等の拡販による売上高の確保に努めるとともに、厳しい外部環境に対応できる企業体質を構築するため、業務の一層の効率化と徹底的なコスト削減に取り組んでまいりました。

その結果、当期の売上高につきましては、構成比率が高い建築関連市場低迷の影響を受け、前年同期に比べ4.6%減少の19,205百万円となりました。利益面につきましては、グループを挙げて徹底した経費の削減に努めた効果に加え、新物流倉庫稼働による物流コストの圧縮、また、原材料、副資材価格が前年同期に比べ値下がりのことから原価率が改善し、営業利益は525百万円(前年同期 営業損失155百万円)、経常利益は511百万円(前年同期 経常損失152百万円)となり、当期純利益は219百万円(前年同期 当期純損失315百万円)となりました。

次期の見通し

今後の経済情勢は、中国および新興国諸国における経済成長を背景に、景気の持ち直しが続くものと見込まれますものの、国内の急速な高齢化や人口減少の進展、社会保障制度への不信感など構造的な問題を抱えており、中長期的な経済成長の展望は開けておりません。また、政府による景気対策が一段落した後の需要減退も懸念されます。

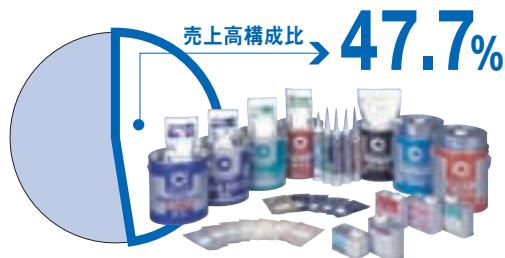
当社グループ関連業界におきましても、国内需要の伸びは期待できず、加えて一旦急落した原油・ナフサ価格が上昇基調に転じたことによる原材料価格の上昇や、デフレの進行により価格競争が厳しさを増すことが予測されます。さらに国際的な環境、安全面の規制が強化されることから使用原材料の制約や変更などコストアップ要因も多く、当社グループを取り巻く経営環境は引き続き厳しい状況が続くものと予想されます。

このような状況に対処するため、当社といたしましては、基本理念として掲げている人を大切に、社会から信頼される企業を指向しながら、課題である収益力の向上と厳しい市場競争に対応しうる積極的且つ柔軟なグループ体質を構築することを目指してまいります。そのために、徹底的なコスト体質の改革を継続することはもとより、成長が見込める市場におけるニーズを的確に捉え、環境対策品、高機能製品の開発スピードを上げて他社との差別化を進めてまいります。また、海外展開としては、市場戦略、販売戦略を明確にしてアジア圏への進出を図り、売上高の確保に努めてまいります。生産面では、100%子会社とした「シー・エヌ・シー株式会社」を含めた国内生産体制を抜本的に見直して製造原価率を改善し、セメダイングループ全体での企業基盤の強化に努めてまいります。

次期の業績につきましては、連結売上高20,500百万円(前年同期比6.7%増)、営業利益700百万円(前年同期比33.2%増)、経常利益670百万円(前年同期比31.0%増)、当期純利益370百万円(前年同期比68.7%増)を予定しております。

■ 当期の市場別ポイント

建築土木関連市場



売上高 **9,164** 百万円

住宅着工戸数の大幅減など市場の厳しさが続く

建築土木関連市場におきましては、新設住宅着工戸数が戸建て、マンションともに大幅に減少したことの影響が大きく、設備投資や公共事業の低迷もありリフォーム市場の開拓や建築現場市場での新規物件の獲得など積極的な営業活動を行ったものの、売上高は9,164百万円(前年同期比7.8%減)となりました。

一般消費者関連市場

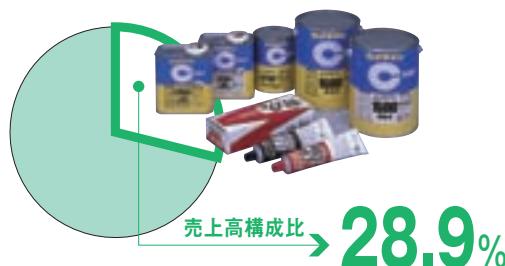


売上高 **4,496** 百万円

低価格指向により販売価格が低迷

一般消費者関連市場におきましては、デフレ認識が浸透するなかで低価格偏重指向が強まり、ホームセンターの価格競争がさらに激しさを増したことから販売価格が低迷し、セメダインスーパーXシリーズ等の拡販に努めましたものの、売上高は4,496百万円(前年同期比1.5%減)となりました。

工業関連市場



売上高 **5,544** 百万円

回復傾向にあるものの、売上増にはならず

工業関連市場におきましては、期後半には自動車、電機等の一部の市場やアジア地域での需要回復に伴い工業用セメダインスーパーX系接着剤の売上は順調に推移しましたものの、期前半の経済活動の低迷に伴う物量の低下の影響を補うことはできず、売上高は5,544百万円(前年同期比1.6%減)となりました。

Close Up

クローズアップ

パーフェクトデコ

デコレーション専用接着剤



セメダインは2008年、若い女性を中心にブームとなっている「デコ」の専用接着剤「パーフェクトデコ」を発売いたしました。デコとは、携帯電話やゲーム機などをラインストーンやシリコンパーツなどで装飾するホビーです。パーフェクトデコは、透明である、ラインストーンやシリコンパーツがしっかり着く、ニオイが少ないなどの特性から、幅広い世代に大変な好評を博しております。

2009年には「デコをしてみたいけれど失敗が怖い」「飽きたら剥がして色々なデザインを楽しみたい」というお客様の声にお応えして、デコ専用下地シートの「パーフェクトデコシート」を発売いたしました。パーフェクトデコ・パーフェクトデコシートは、それまでセメダインの接着剤をお使いいただいていたなかった若い女性にも支持されており、新しいセメダインファンの開拓に貢献しております。



☆デコをしてみましょう☆



デコレーション専用下地シートのパーフェクトデコシートに、デザインを写し取る。



貼り付けるものに、デザインを写し取ったシートを貼り付ける。



余分なシートをカッターで切り取り、シートの縁にサイド用テープを貼る。



接着剤のパーフェクトデコをいらない紙などに出す。

パーフェクト デコ

2008日本ホビーショーで話題になったパーフェクトデコ！
携帯電話はもちろん、ポータブルオーディオやペン、デジカメなどなど
身の回りの小物をデコレーション！

- 衝撃や熱、水にも強い強カタイプ。日常生活でストーンが取れにくい。
- 透明だからキレイな仕上がり。ストーンも曇らない。
- シンナー不使用でイヤなニオイなし。プラスチックを溶かしません。
- 固まるまで時間に余裕があるので微調整ができます。



パーフェクト デコシート

デコレーション専用下地シートです。シートの上にストーンを貼り付けるので、デコに失敗したときやデザインを変えたいときに、シートごと簡単にはがせて便利！

- デコのデザインを変えたら簡単にはがせます。
- はがした後にベタつきが残りません。
- 台紙が透明なので好きなデザインが写せます。
- 引っ張ると伸びますのでカーブや角の処理が楽です。
- サイド用テープつきで、カットした側面などをとめられます。



つまようじなどでシートのデザインの上に接着剤を塗る。



ピック先端の粘着材にラインストーンを付け、つまみあげる。



接着剤の上にラインストーンを置いていく。



☆ 完成 ☆

連結財務諸表

● 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当期 (平成22年3月31日現在)	前期 (平成21年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	11,498	11,298
現金及び預金	3,435	3,576
受取手形及び売掛金	5,906	5,482
商品及び製品	1,226	1,308
仕掛品	178	194
原材料及び貯蔵品	429	392
繰延税金資産	143	122
その他	196	236
貸倒引当金	△16	△15
固定資産	5,274	5,828
有形固定資産	3,478	3,860
建物及び構築物	2,018	2,206
機械装置及び運搬具	553	744
工具、器具及び備品	100	112
土地	801	798
建設仮勘定	3	—
無形固定資産	248	236
借地権	62	62
ソフトウェア	131	142
電話加入権	12	12
ソフトウェア仮勘定	13	13
その他	28	4
投資その他の資産	1,547	1,731
投資有価証券	934	839
繰延税金資産	567	817
その他	70	132
貸倒引当金	△25	△58
繰延資産	6	9
創立費	0	1
開業費	5	8
資産合計	16,780	17,137

科目	当期 (平成22年3月31日現在)	前期 (平成21年3月31日現在)
負債の部		
流動負債	6,599	6,734
支払手形及び買掛金	5,091	4,975
短期借入金	510	600
1年内返済予定の長期借入金	48	48
未払法人税等	37	26
賞与引当金	220	193
その他	692	890
固定負債	1,883	2,323
長期借入金	384	432
繰延税金負債	26	26
退職給付引当金	965	1,204
その他	506	661
負債合計	8,482	9,057
純資産の部		
株主資本	8,333	8,188
資本金	3,050	3,050
資本剰余金	2,676	2,676
利益剰余金	2,714	2,569
自己株式	△108	△107
評価・換算差額等	△137	△190
その他有価証券評価差額金	△6	△45
為替換算調整勘定	△131	△145
新株予約権	20	6
少数株主持分	80	74
純資産合計	8,297	8,079
負債純資産合計	16,780	17,137



● 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当期	前期
	(平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)	(平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)
売上高	19,205	20,133
売上原価	14,261	15,617
売上総利益	4,944	4,516
販売費及び一般管理費	4,418	4,671
営業利益又は営業損失(△)	525	△155
営業外収益	104	137
営業外費用	118	135
経常利益又は経常損失(△)	511	△152
特別利益	—	13
特別損失	42	324
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	469	△463
法人税、住民税及び事業税	27	33
法人税等調整額	203	△200
少数株主利益	18	19
当期純利益又は当期純損失(△)	219	△315

● 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当期	前期
	(平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)	(平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	482	42
投資活動によるキャッシュ・フロー	△382	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△227	△207
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	△6
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△125	△177
現金及び現金同等物の期首残高	3,452	3,629
現金及び現金同等物の期末残高	3,326	3,452

● 連結株主資本等変動計算書

当期(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本					評価・換算差額等			新株予約権	少数株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計			
平成21年3月31日残高	3,050	2,676	2,569	△107	8,188	△45	△145	△190	6	74	8,079
連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当			△74		△74						△74
当期純利益			219		219						219
自己株式の取得				△0	△0						△0
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)						38	14	52	14	6	73
連結会計年度中の変動額合計	—	—	145	△0	144	38	14	52	14	6	218
平成22年3月31日残高	3,050	2,676	2,714	△108	8,333	△6	△131	△137	20	80	8,297

トピックス

TOPICS

新製品 瞬間弾性接着剤スーパーXG（ゴールド）No.777

「スーパーX」シリーズの工業用新製品として速硬化タイプの「スーパーXG（ゴールド）No. 777」を発売し、驚きと好評を得ております。

さらなる硬化スピード、各種材料に対する接着性および強度の向上という新たな特長が「スーパーX」シリーズの活躍の場をさらに広げ、今後一層の期待が持てる強力な製品群となっております。



TECHNO-FRONTIER 熱対策技術展出展



工業用接着剤の新提案品である、熱・シロキサン対策製品「SX1000」シリーズ、耐熱・低ハロゲンエポキシ系接着剤「EP600」のPRとして、昨年4月に幕張メッセで開催されました熱対策技術展に出展いたしました。

大変多くの開発者・技術者のお客様にお立寄りいただき、当社ブースでの実演や製品説明に耳を傾けていただきました。

日本ホビーショー出展

今年5月に東京ビッグサイトにて開催されました日本ホビーショーに出展し、ホビー専用接着剤「ホビーセレクション」シリーズを展示・実演いたしました。体験教室や即売会などを通じ、全国から集まった多くのホビー愛好家のお客様に「ホビーセレクション」シリーズのPRを行い、好評を博しました。



会社概要・株式の状況 (平成22年3月31日現在)



● 会社の概要

商号	セメダイン株式会社 (CEMEDINE CO., LTD.)
本社	〒141-8620 東京都品川区東五反田4-5-9
設立	昭和23年4月22日 (創業大正12年11月)
上場証券取引所	東京証券取引所 (市場2部)
資本金	30億5,037万5千円
従業員数	263名
主な事業内容	接着剤・シーリング材・粘着材・特殊塗料・コーティング剤およびその加工品の製造販売 接着および防水等に関する施工および請負
主要取引銀行	三菱東京UFJ銀行 りそな銀行 常陽銀行 三菱UFJ信託銀行

● 取締役および監査役 (平成22年6月25日現在)

代表取締役会長	黒川 靖 生
代表取締役社長	荒井 進
専務取締役	小倉 健之亮 営業本部長
常務取締役	生井 照 雄 生産・物流本部長・茨城工場長
常務取締役	松本 有 祐 管理本部長・人事総務部長
取締役	成塚 隆 男 危機管理担当・チーフコンプライアンスオフィサー・購買部長
取締役	猪瀬 一 弘 管理部長・情報統括室長
取締役	杉浦 條 二 営業副本部長・営業企画室長
監査役 (常勤)	高津 正 治
監査役	小澤 徹 夫
監査役	細野 幸 男
監査役	渡邊 隆 司

● 株式の状況

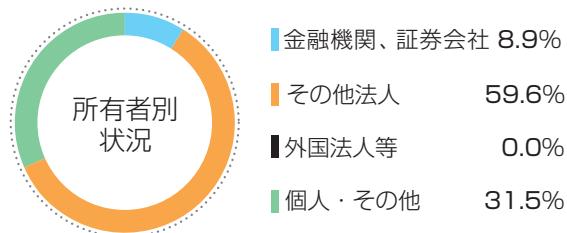
発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式の総数	15,167,000株
株主数	1,200名

大株主 (上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	出資比率(%)
株式会社カネカ	4,445	29.96
セメダイン共栄会	1,470	9.90
三菱商事株式会社	1,008	6.79
東レ・ダウコーニング株式会社	563	3.79
株式会社三菱東京UFJ銀行	539	3.63
株式会社りそな銀行	400	2.69
信越化学工業株式会社	400	2.69
株式会社INAX	300	2.02
日本ウイリング株式会社	270	1.82
株式会社丸運	200	1.34

(注) 出資比率については、自己株式 (332,822株) を控除して算出しております。

● 株式の分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
利益配当金 受領株主確定日	3月31日・9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 (市場2部)
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL (http://www.cemedine.co.jp/) (ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、右記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

インターネット ホームページ

ホームページで当社の事業活動、株主投資家向け情報などを掲載しております。ぜひご利用ください。



<http://www.cemedine.co.jp/>



本冊子は環境保全のため再生紙を使用し、植物油インキで印刷しています。

株主優待制度の内容

(1) 対象株主

毎年3月31日の最終の株主名簿に記録された1単元(1,000株)以上保有の株主様。

(2) 優待品

2,000円～3,000円相当の当社商品を贈呈することを基本といたします。

(3) 贈呈時期

毎年、定時株主総会后(6月下旬～7月上旬)に送付する予定であります。

株式に関するお手続きについて

● 特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
特別口座から一般口座への振替請求	特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
単元未満株式の買取請求		
住所・氏名等のご変更		
特別口座の残高照会		
配当金の受領方法の指定(※)	株主名簿管理人	[手続書類のご請求方法] 音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479 (通話料無料) インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/
郵便物の発送と返戻に関するご照会		
支払期間経過後の配当金に関するご照会		
株式事務に関する一般的なお問合せ	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。	

(※) 特別口座に記録された株式をご所有の株主の皆様は受領方法として株式数比例配分方式はご選択いただけません。

証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
郵便物の発送と返戻に関するご照会	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
支払期間経過後の配当金に関するご照会		
株式事務に関する一般的なお問合せ		
上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。	

セメダイン株式会社

本社 〒141-8620 東京都品川区東五反田 4-5-9
Tel:03-3442-1331